

### 鉄筋コンクリート構造配筋標準図

#### 1. 一般事項

(1) 構造図に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

(2) 記号  
 $d$  — 異形鉄筋の呼び名に用いた直径  $D$  — 部材の成  $R$  — 直径  $\phi$  — 間隔  
 $r$  — 半径  $l$  — 部材間の内法距離  $h$  — 部材間の内法高さ  
 $\phi$  — 直径 または 丸鋼

#### 2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折り曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	備 考
図				スラブ・壁筋の末端部またはスラブと同時打ち込みT形及びL形梁のキャプタイにのみ用いる キャプタイ 8d以上
鉄筋の余長	4d以上	6d以上	8d以上 (4d以上)	

折り曲げ内法寸法 (R) はSR235は3d以上SD295、SD345は4d以上  
 \*片持スラブ上層筋の先端の余長は4d以上が良い

(2) 鉄筋中間部の折り曲げの形状 鉄筋の折り曲げ角度90°以下

図	使用箇所	鉄筋の種類	鉄筋径	折曲げ内法直径 R
	フープ	SR235	D16以下	3d以上
	スターアップ	SD295	D19以上	4d以上
	スパイラル筋	SD345		
	上記以外の鉄筋	SR235	D16以下	4d以上
		SD295	D19~D25	6d以上
		SD345	D29以上	8d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継ぎ手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (kgf/cm <sup>2</sup> )	重ね継ぎ手の長さ (L1)	定着の長さ	
			一般 (L2)	下 階 筋 (L3)
SD295	180以下	45dまたは35dフック付き	40dまたは30dフック付き	25dまたは15dフック付き
	210・225・240	40dまたは35dフック付き	35dまたは25dフック付き	15dフック付き
SD345	270以上	35dまたは25dフック付き	30dまたは20dフック付き	

継 手

- 末端のフックは、定着及び継ぎ手の長さには含まれない
- 継ぎ手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる材の継ぎ手は、細い方の材の継ぎ手長とする
- 直径が28mm以上の場合は、重ね継ぎ手としてはならない
- 鉄筋径の差が5mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状

圧接継手

(4) 鉄筋の最小かぶり厚さ (mm)

部 位	かぶり厚さ	
土に接しない部分	層間スラブ 層内	30
	床スラブ 層外	40 (1)
土に接する部分	柱・梁 層内	40
	壁 層外	40
	欄 壁	50
	柱・梁・床スラブ・壁	50
	基礎・擁壁	70

(1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、係員の承認を受けて30mmとすることができる

(5) 鉄筋のあき  
異形鉄筋 1. 5d以上かつ  
粗骨材の最大寸法の 1. 25d以上かつ2.5以上

(6) 鉄筋のフック

- スターアップ及びフープ及び止め筋
- 柱、梁 (地中梁は除く) の出隅部分の鉄筋
- 単層梁の下層筋
- 重ね継ぎ手及び、最上層の柱筋の柱の出隅にある主筋

上記の●印の鉄筋の重ね継ぎ手の末端にはフックを付ける

#### 3. 杭

(1) 既設杭の杭頭補強

所定位置より低く止まった場合  
 $H \leq D$  の場合  
 $H > D$  の場合は打ち合わせに依る

杭 径	350φ	400φ	450φ	500φ	600φ
補 強 筋	6-D13	6-D13	8-D13	8-D13	8-D13
HOOP筋	D10-#100				

(2) 現場打ちコンクリート杭

杭頭処理

スプーサー フラットバー (F-50×4.5) または D13-#2000 (φ4材用)

#### 4. 基礎

(1) 直接基礎

(2) 杭基礎

#### 5. 地中梁

(1) 独立基礎、杭基礎の場合 (定着、継手)

(2) 布基礎、べた基礎の場合 (定着、継手)

#### 6. 柱

(1) 柱主筋の継手

(2) 柱主筋の定着

最上層柱筋の出隅の鉄筋はフックを付ける事

#### 7. 梁増打コンクリート補強

(使用するときには設計者、及び工事監理者と打合せのこと)

ハッチ部分は増打コンクリートを示す

#### 8. 梁貫通孔補強

100φをこえるスリーブ補強は既製品を使用する事。

(1) 設置可能範囲

梁端部 (スパン1/10以内かつ2D以内) は避ける (φ1+φ2) × 3/2以上

(2) 既製品

- リング型
- 金網型

(3) 鉄筋標準配筋 (鉄筋による補強は承認後とする)

80<φ≤100	折 筋 2-(2-D13) 縦 筋 ST 2-D13	
100<φ≤150	折 筋 2-(2-D13) 斜 筋 4-(2-D13) 縦 筋 ST 4-D13 横 筋 2-(2-D13)	
150<φ≤250	斜 筋 4-(2-D13) 縦 筋 ST 2-D13 横 筋 2-(2-D13) 字 筋 ST 3-D13	

<p>工事名所 GH吉田さくらの里</p> <p>図面名 鉄筋コンクリート構造配筋標準図</p>	<p>No. S-04</p> <p>縮尺 1:100</p>	<p>作成日 2023.02.28</p> <p>一級建築士 福田 健 211838</p>
--	---------------------------------	--